

青山学院中等部 2 年 Mid-Term Test (2024.05)

～ 概要～

試験時間	4 5 分		
	設問概要		
	形式	基本(テキスト内) / 応用	時間配分予想
[I]	リスニング	基本	約 15 分【固定】
[II]	語句補充	基本	5 分
[III]	語句整序	基本	2 ～ 3 分
[IV]	空欄補充	基本	5 分
[V]	英文書き換え	基本	5 分
[VI]	会話応答	基本	1 ～ 2 分
[VII]	会話文読解	応用	5 ～ 7 分

～ [I] リスニング問題～

✓ **形式**

：イラストなどもなく、指示・選択肢も音声で案内されるリスニング問題。
 対話形式とスピーチ形式で Part が分かれている。
 話の内容を聞いて A・B・C の 3 つの選択肢から正しいものを選ぶ。

✓ **問題数**

：PartA、PartB のそれぞれ 5 問ずつ。計 10 問。

✓ **配点**

：各 2 点。計 20 点。

✓ **ポイント**

：リスニングは日頃の音読練習が必要不可欠。内容がテキスト準拠か応用かで対策は変わるが、頻出の形式であるので、英検教材などからも練習しておくといよい。

～ [II] 語句補充問題 / ～

✓ **形式**

：単文空所に、与えられた単語（動詞）を必要に応じて適切に変化させて文を完成させる。

✓ **問題数**

：10問

✓ **配点**

：各2点。計20点。

✓ **ポイント**

：動詞の変化であることと、空所に入れる際に2語以上になる場合もあることに注意する。

すなわち、【過去形】や【進行形；be ～ing】、【三単現】、【現在形のまま】などが考えられる。

“when”や“while”の時間を表す接続詞に注意して、【現在・過去・未来】の時制は絶対に確認する。

～ [III] 語句整序問題～

✓ **形式**

：基本的な単語の並び替えにより文章を完成させる問題。

✓ **問題数**

：5問。

✓ **配点**

：各2点。計10点。

✓ **ポイント**

：不要な語句が1語ある・文章の初めに来る文字も小文字になっている。

これらの指示を見逃さないように。

完成させる英文の日本語訳はついていない為、単語から完成させる文章の完成形をイメージする。

～ [IV] 空欄補充問題～

- ✓ **形式**
：単文空所に、与えられた日本語の意味に合うように空欄を適語で埋める問題。
- ✓ **問題数**
：5問。
- ✓ **配点**
：各2点。計10点。
- ✓ **ポイント**
：2語または3語の空欄で構成されており、熟語の知識を問う内容となっている。
当然ながら、動詞の時制表現にも気をつかう必要がある。

～ [V] 英文書き換え問題～

- ✓ **形式**
：与えられた英文を、() 内の指示に従って書き換える。
【～～を加えて】、【○○を××に変えて】、【否定文に】、【進行形に】
【(接続詞) を使って1つの文に】、【下線部の単語が答えとなる疑問文に】
【(英文法) を使ってほぼ同じ意味の文に】 など様々なパターンがある。
- ✓ **問題数**
：10問。
- ✓ **配点**
：各2点。計20点。
- ✓ **ポイント**
：第一に、変化により動詞の【時制】が【現在・過去・未来】のどれに変わるかをチェックする。
【過去形一般動詞の否定文】を進行形の文章にする問題では正答率が著しく低かった。
文章をただ並び替える又は作り替えるよりも、【英文を適切な意味で1から作る】方が、
実は混乱が少ない。

～ [VI] 会話応答問題～

✓ 形式

: Q (問いかけ) と A (応答) のどちらかの英文が空欄になっている。
Q に対する適切な A、A をもとに適切な Q を、イラストを参照して英作文する問題。

✓ 問題数

: 5 問。

✓ 配点

: 各 2 点。計 10 点。

✓ ポイント

: ヒントも多く、非常にシンプルな英作文の問題であるため、確実に得点したい。
ただし、会話文であることから適切な Q⇔A の関係は勿論、【代名詞】を適切に使うことが重要。
5W1H の応答や、電話中の会話パターンなどはしっかり確認すること。

～ [VII] 会話文読解問題～

✓ 形式

: 2 人の登場人物の会話形式の長文読解問題。
内容についての質問 (主に 5W1H) に対して、英文で解答する。

✓ 問題数

: 5 問。

✓ 配点

: 各 2 点。計 10 点。

✓ ポイント

: 長文問題全体に言えることだが、長文本体→問題文の順に読むのではなく、
問題文を読む (問われていることを確認する) →長文本体を読む (問いの答えを探す)
この順序を守って解く必要がある。(何を見つけるべきか分からないまま探し物をするのではない)

～ 総評～

✓ 対策ポイント

：単語は動詞を中心に覚えて、前置詞との組み合わせによる熟語表現もよく確認すること。

：英文法は列挙すると、

【動詞の過去形】・【三人称単数現在】

【現在/過去の進行形】・【それらの疑問文】

【疑問詞 5 W 1 H を用いた疑問文】・【基本的な会話応答】

単語同様に、動詞の変化や疑問への応答を問う問題が基本となっている。

：[II]の適切な形に直す問題は、【適切な形をパッと思いつく】練習をするのではなく、

【候補を挙げて試してみる】という練習をしておく、本番で正しい物を思いつきやすい。

動詞の変形は今の時点では【現在か過去か未来か】 + 【進行か否か】を判断できればよい。

✓ 傾向と対策

：基本はテキストや授業内で触れた内容がほとんどで、最後の会話文のみテスト用のオリジナル。

時間配分はかなり短めに設定されているため、じっくり考えるよりも、**いかに授業内で扱った内容を瞬発的に思い出すことができるか**を求められている。

⇒インターTOMASでは

個別指導でも**スラッシュリーディング指導**を行うことで、**速読力・速聴力**を磨きます。

試験時間が短い、足りないと感じる場合には、このトレーニングが有効です！

：日頃から授業内容の復習はもちろんのこと、反復的な音読を通じて、

英文の定型化を図ることが重要となる。

⇒インターTOMASでは

いろいろな英文に触れることができる、受け放題の加圧式音読グループレッスンが効果的です。

英語長文を安定してなめらかに読み切る**読解力**が身に付きます。